

Ishida Eye Clinic
News Letter
Destiny Enishi



Dr.アキラベラ



Dr.アキラベラ

／電子カルテとの出会い／

今から40年以上前に私がニューヨーク州のロチェスター医科大学のアクアベラ先生の元に留学した際、既に彼の診療所に電子カルテが導入されていた事を記憶しています。日本はもちろん、世界のどこに医療施設にも電子カルテは普及されていない時代でした。但し当時の電子カルテはサーバーに磁気テープを用い、常時空調を完備した部屋に専属の技師が常に一人居り大掛かりな設備でした。

9年前、当院の百周年記念式典にアメリカからアクアベラ先生をご招待した際「あの電子カルテは全米でも初めての試みだった。全ての情報を的確に保存しその情報を自宅からでも見られる様にしていた」と言われ、今更ながら先生の偉大さに驚きました。

当院の電子カルテの導入は日本の医療機関の中では早い時期から使い始めています。眼科の場合は電子カルテ以外に眼底写真や視野などの検査が多く、その結果をデジタル化しファイリングとして残す必要があります。会計及び予約を含めてその連携が重要です。導入にあたって全国の電子カルテを使用している数少ない眼科施設の見学をし、それを参考に2007年にSANYO by Panasonicの電子カルテを採用し、視野や眼底精査のデータや手術中の動画もトプコンイメージネットとの連結を行いました。昨年8月に全機種のリニューアルをしました。その結果、視野などのデータの長期間保存は日本でも誇れる機能となりました。

最大40か所の電子カルテの端末をもつ眼科単独の医療施設としてはメデイコム社の中で初めての試みで全国トップとなっています。

「石田眼科は混んでいる。待たされる」の評判も「最近待ち時間が短くなり、スムーズになった感じがする」という声がはじめています。「地域にあっても中央に匹敵する医療」を心がけていますが、まだまだ努力は必要です。

又何かお気づきのことがあれば、いつでもスタッフにお知らせ頂きたいと思っています。

石田眼科院長 石田 誠夫

行事報告

2022年10月

D S S (Deep-drive Surgical Seminar)



D S S (Deep-drive Surgical Seminar) を当院で開催。全国から眼科医が集い、最新技術や機器の情報を共有しました。

2023年1月

第46回日本眼科手術学会学術総会



第46回日本眼科手術学会学術総会(東京)。副院長がインストラクションコースの講師として参加しました。

2023年2月

当院へ見学に



当院へ見学に順天堂大学眼科新教授 中尾新太郎先生ご夫婦、国立長寿医療センター病院眼科部長 稲富勉先生、順天堂大学 渡辺真子先生が来られました。

2022年7月 フォーサム2022せとうち(広島) 松木

2022年7月 第38回日本眼循環学会(富山) 院長・副院長

2022年10月 第76回日本臨床眼科学会(東京) 院長・副院長

2022年10月 第28回日本糖尿病眼学会総会(京都) 松木

2022年12月 第61回日本網膜硝子体学会総会(大阪) 副院長

2023年2月 角膜カンファランス2023(神奈川) 院長

2022年11月 永年勤続表彰

今回、糸魚川クリニックを含む石田眼科からは勤続年数20年1名、勤続年数10年6名の合計7名の職員が表彰されました。



2022年12月 ユニフォーム

看護師と視能訓練士のユニフォームを新しくしました。

■看護師



■視能訓練士



専門外来のご案内 [4月、5月、6月、7月]

日程は変更になる場合があります。なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。

網膜硝子体専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科教授 横山 利幸先生 4/14、5/12、6/9
 順天堂大学浦安病院 眼科准教授 坂西 良仁先生 6/3
 京都府立医科大学附属病院 眼科 寺尾 信宏先生 4/14、5/19、6/30、7/14
 米田医師他 4/15、5/13、6/10、7/15、7/29

緑内障専門外来

日本赤十字社医療センター 前眼科部長 濱中 輝彦先生 4/13、4/14、5/11、5/12、6/1、6/2
 東京大学医学部附属病院 眼科教授 相原 一先生 4/18、5/27、7/18

小児眼科専門外来

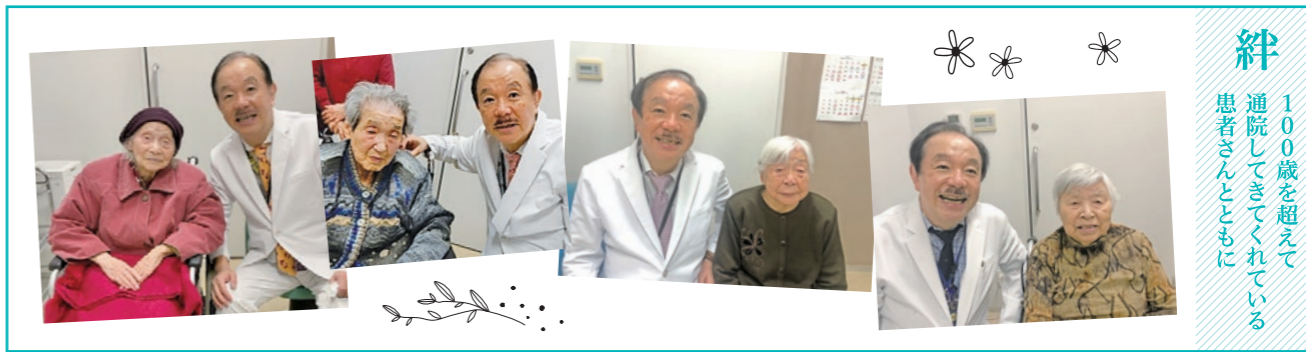
順天堂大学練馬病院 眼科教授 横山 利幸先生 7/22

角膜屈折矯正専門外来

聖路加国際病院 顧問 山口 達夫先生 4/22、5/20、6/17、7/22
 国立長寿医療研究センター病院 眼科部長 稲富 勉先生 5/27

眼形成・涙嚢専門外来

東邦大学医療センター大橋病院 非常勤講師 矢部 比呂夫先生 5/25
 京都府立医科大学 眼科助教 渡辺 彰英先生 5/20
 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外来部長 上田 幸典先生 4/22、6/24



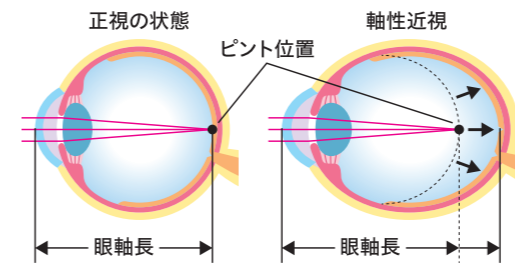
絆

100歳を超えて
通院してきてくれている
患者さんとともに



子どもの近視

子どもの近視は、眼球が楕円形に伸びてしまう(眼軸長が伸びる)ことで焦点が手前になることにより生じるケースが多くあります。近くで見ることが習慣化してしまうと近視になりやすく、一度伸びた眼球が元に戻ることはありません。そのため、近視の進行を抑制するためには重要となります。



近視の原因

子どもの近視の原因は大きく分けて2つあります。一つは「遺伝的要因」で、両親が近視の場合はそうでない子と比べて発症するリスクが高いとされています。もう一つは「環境的要因」です。テレビやゲームを長時間近くで見たり、スマホやパソコンを長時間使用したり、本を近距離で読むことなどがあげられます。

近視を進ませないために

近視が進行すると網膜が薄くなるため、将来、網膜剥離や黄斑出血、緑内障になるリスクが高くなります。そうならないために、スマホやゲームなどの近距離での作業時間の短縮、戸外活動を1日2時間以上、といった環境を変えることのほかに、点眼による治療法もあります。

低濃度アトロピン点眼液、マイオピンプン点眼液

低濃度アトロピン点眼液またはマイオピンプン点眼液を1日1回継続的に使用することによって、眼軸長の進展を抑制し、近視の進行スピードを遅らせます。

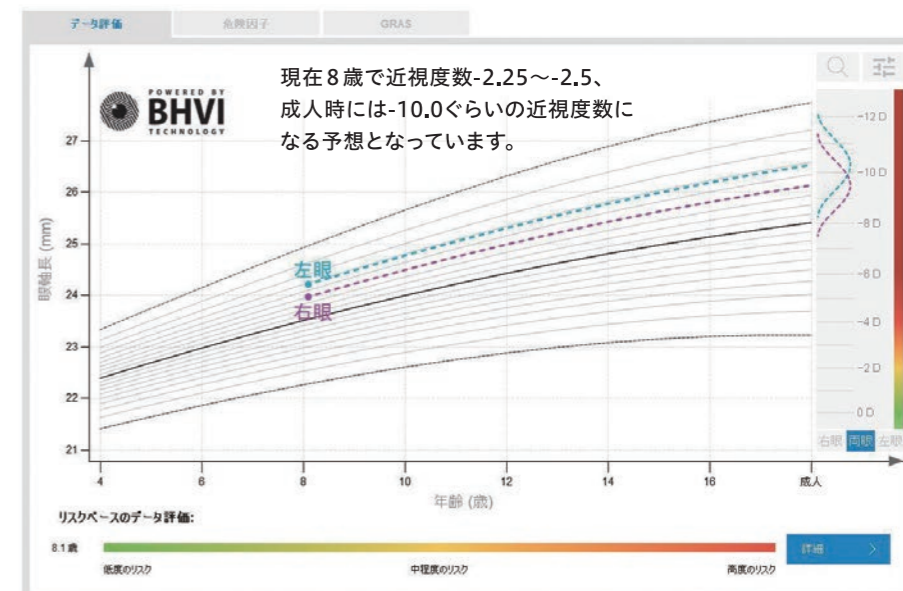
近視進行診断装置

「マイオピアマスター」

小児期の近視進行を正確に測定・判定できる装置です。調節力による変動を受けずに眼軸長を測定できるため、正確な測定ができます。この装置で眼軸長の変化を経時的に測定し、内蔵された25000人以上の正常眼軸長データベースと比較解析することでお子さんの進行スピードや予防治療効果の評価をすることが可能です。



新潟県で初めて導入



小児でのオルソケラトロジーやEDOFソフトコンタクトレンズなど近視進行の程度を評価して治療を選択していきます。少しでもお子様の近視進行の予防につながればと思います。

ご興味のある方は、まず視力検査や診察がありますのでお気軽に医師または職員へご相談ください。

最先端の治療で多くの患者さんがコンタクトレンズや眼鏡から解放されています

モダンレーシック

モダンレーシックとはフェムトセカンドレーザー、エキシマレーザーを使用します。OPDの正確なデータをレーザーに入力するので、より正確に視力を矯正出来る方法です。

・15名29眼 平均年齢27.7歳(20歳~47歳)

治療前視力

平均 0.08

治療後視力

平均 1.2

(令和4年4月~12月)

ICL手術 [有水晶体眼内レンズ]

当院ではICL(有水晶体眼内レンズ)手術も始めました。モダンレーシックでは適応外の強度近視の方にも適していますので、興味のある方はお気軽にお尋ね下さい。

・14名28眼 平均年齢31.1歳(22歳~39歳)

治療前(平均)

視力 0.04 近視度数 -7.5D

治療後(平均)

視力 1.2 近視度数 +0.5D

(令和4年4月~12月)

ICLではLASIKで対応できない強度近視や乱視を軽減することができます。

ICL全体平均

裸眼視力

0.04 ▶ 1.2

近視度数

-7.5D ▶ +0.5D

集計期間最大値

裸眼視力

0.02 ▶ 1.5

近視度数

-17.75D ▶ ±0

乱視

裸眼視力

0.06 ▶ 1.5

乱視度数

-3.0D ▶ ±0

モダンレーシックは県内では当院のみ、ICL手術は県内では当院を含め3施設のみ治療を行っております。

説明用ビデオを院内で放映中。貸し出しもしています。是非ご覧下さい。興味のある方は **無料説明会開催中**

2022年手術件数報告 (2022年1月~12月)

- 白内障手術 1496件
- 緑内障手術 109件
- 角膜移植 10件
- 網膜硝子体手術 231件
- 翼状片 40件
- 外眼部手術 25件
- 眼瞼下垂手術 174件
- 斜視 7件
- 涙嚢鼻腔吻合術 4件
- 硝子体注入 808件

- その他 116件
 - 屈折矯正治療 98件
- モダンレーシック、PRK、PTK、タッチアップ 55件
ICL(有水晶体眼内レンズ) 36件
クロスリンキング 7件
(計3118件)

New Face

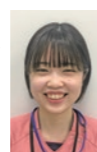
新人紹介

新しい仲間が増えました。どうぞよろしくお願ひします。



清水 絵梨奈
◇ 視能訓練士

入職して約1年が経ちました。まだまだ知識も技術も未熟ですが、先輩方からご指導をいただきながら勤務しています。たくさんの方の経験を積み、患者様一人ひとりに寄り添うことができる視能訓練士になれるように日々努力をしていきます。よろしくお願ひします。



渡邊 文菜
◇ 視能訓練士

入職して約1年が経ちました。知識や経験はまだ浅く、先輩方のご指導を頂きながら日々勉強しています。まだまだ未熟で至らない面も多々あると思いますが、患者様により安心していただけるように努力していきます。よろしくお願ひします。



山田 菜菜
◇ 事務

入職から1年半程経ちました。情報量の多い職場ですのでミスのないよう、先輩方にご指導頂きながら勤務しています。利用される患者様やご家族への対応など学ぶことの多い日々ですが、努力していきたいです。よろしくお願ひします。



藤井 祐美
◇ カフェ

入職から1年半程経ちました。情報量の多い職場ですのでミスのないよう、先輩方にご指導頂きながら勤務しています。利用される患者様やご家族への対応など学ぶことの多い日々ですが、努力していきたいです。よろしくお願ひします。